

家園

字体作者：周 慧琚

第16号



特定非営利活動法人

中国帰国者・日中友好の会

〒110-0016 東京都台東区台東 3-35-7

ペガサスミシンビル1階

TEL : 03-3835-9357 FAX : 03-3835-9358



2016 年 5 月 31 日 熊本地震義援金贈呈

目 次

★ 熊本地震義援金について.....	2
★ 第8回定例総会開く.....	3
★ 帰国者まつり2016を祝う.....	4
★ 劉金花先生を偲ぶ.....	5
★ 急病に思う.....	6
★ 残留孤児のラッキースター 笠原五郎さん.....	7
★ 本会活動記録・お知らせ・編集後記.....	8

2016 年 8 月 17 日
認定特定非営利活動法人として認定されました

熊本県地震義援金について

4月14号熊本大地震后、本会立刻号召会员为灾区捐款，仅一个月的时间就捐集了200万日元。（包括東京・千葉・京都及大阪の帰国者と関東弁護団）

5月31号，在野田毅衆議院議員的陪同下，本会理事长池田，理事4名及米倉洋子律師，在衆議院第二議員会館向蒲島郁夫熊本县知事贈送捐款。

第二天6月1号「熊本日日新聞」早报报道了捐款仪式。县知事也寄来感谢信。下面是新闻报道和感谢信。

4月14日、九州を襲った熊本大地震。その直後、本会が義援募金を呼びかけました。わずか一か月で、会員から200万円を寄せられました。（東京・千葉・京都及び大阪の帰国者と関東弁護団を含む）

5月31日、衆議院第二議員会館にて、野田毅議員の立会いの下、当会池田理事長をはじめ、理事4人、米倉洋子弁護士も同席され、帰国者を代表して、蒲島郁夫熊本県知事に義援金を手渡しました。

その翌日の6月1日に「熊本日日新聞」朝刊に報道され、知事からは感謝状を頂きました。下記は熊本日日新聞の記事と知事からの感謝状です。

熊本日日新聞 2016 年 6 月 1 日 朝刊

中国残留孤児らが
県に義援金200万円
中国残留孤児らでつ
くるNPO法人中国帰
国者・日中友好の会
（東京）は31日、熊本
地震の義援金200万
円を県に贈った。
「被災地のために少
しでも役立ちたい」と
会員らに寄付を呼び掛
け、東京や京都、大阪
などの約250人が協
力。池田澄江理事長が
同日、上京中の蒲島郁
夫知事に手渡した。
池田理事長は「日本
語を話せず、みんな苦
劳したが、国の支援の
おかげで生活が安定し
た。日本社会に少しで
も恩返ししたい」と話
した。同会は東日本大
震災の時も被災地に義
援金を贈っている。
（内田裕之）

熊本県知事からの感謝状

謹啓 時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
この度は、平成二十八年熊本地震に際し、多大なる義援金をお寄せいただき、熊本県民を代表しまして、心よりお礼申し上げます。

被災者の方々におかれましては、様々な面において不安な日々を過ごされていることと思います。そのような中で、貴団体のお心遣いは非常に有り難く、県民の明日への希望につながるものであります。この真心が被災者の方々にしつかりと届くよう、大切にお預かりさせていただきます。私も、一日も早く県民が安全・安心に過ごすことができよう尽力して参りますとともに、貴団体からのお気持ちにしっかりと応えできるよう、復興に向けて最大限の努力をして参りますことを固くお約束し、貴団体のますますの御発展を祈念しまして、お礼の言葉といたします。

謹白

平成二十八年六月十五日

熊本県知事 蒲島郁夫

NPO法人「中国帰国者・日中友好の会」 第8回定例総会開く

河村忠志

6月18日、第八次定期总会在本会地下1階活動室召开。本会正会員131名、当天出席46人、并有48人提交了书面表决或委任书、合计94人。超过半数。

2015年度是本会成立以来、工作繁忙、事业充实、成果最丰富的一年。主要成果表现在以下5个方面：

1. 事务所搬迁，环境有了新改观；
2. 办教室，搞交流，事业又有新发展；
3. 设备得以更新，饺子工房发生新变化；
4. 通过认定NPO法人申请的准备工作，使本会的管理水平再上新台阶；
5. 参加战后70周年公演的纪念活动，为日中友好再做新贡献。

2016年本会的事业方针是：

1. 继续办好支援相谈窗口；
2. 通过认定NPO法人的申请和审查，使本会的管理水平（特别是财务方面）再上新台阶；
3. 进一步开展有益于归国者身心健康的活动，吸引更多的归国者和二、三世参加本会；
4. 认真办好会刊，及时更新网页，强化对外宣传；
5. 努力办好饺子工房，为本会创造更多的效益。

大会审议并一致通过了以下三个议案，

第一号议案 2015年度事业报告・活动决算；

2016年度事业计划・活动预算的审议；

第二号议案 定款的一部分变更的审议；

第三号议案 把2014年度所发生的550万假受金转变为借入金的审议。

河合先生、鈴木先生、安原先生和米倉先生四位律师在百忙之中出席本次总会，并发表了热情洋溢的讲话。

6月18日、第8回定例総会は本会地下1階活動室にて開かれました。本会正会員131名の中で、当日出席者46名、書面決議と委任状提出者は48名で、合計94名になり、半数を超えました。

2015年度は本会設立以来、最も忙しく充実し、かつ大いに成果を挙げられた一年でした。主な成果は以下の通りです。

1. 事務所を移転して、運営環境が大きく改善された。
2. 各教室は交流活動を主催し、事業の発展を遂げた。
3. 厨房設備修を更新し、餃子工房が大きく変貌した。
4. 認定NPO法人申請の事前準備を通して、本会の運営管理の向上に務めた。
5. 戦後70周年記念公演会などに参加して、日中友好に新たに貢献した。

2016年度における本会の事業方針は以下の通りです。

1. 引き続き相談窓口を開設、孤児とその家族の相談を受け、問題の解決に向け、助力する。
2. 認定NPO法人の申請や審査を通して、本会の運営を更に向上させる（特に財務の面に於いて）。
3. 帰国者の心身健康に有利な活動を計画、催行し更に多くの帰国者に参加していただくよう努める。
4. 会報の発行に力を注ぎ、タイムリーにホームページを更新し、对外宣伝を強化する。
5. 餃子工房の運営を強化し、収益の向上に努める。

総会では以下三点の議案を審議し、可決しました。

第1号議案 2015年度事業報告、および活動決算、ならびに2016年度事業計画及び活動予算の審議。

第2号議案 定款の一部変更の審議。

第3号議案 2014年度に発生した550万の仮受金を借入金へ変更する議案。

河合先生、鈴木先生、安原先生、米倉先生の四名の先生方には、お忙しい中、総会にご出席いただき、スピーチもいただきました。心より感謝を申し上げます。

（翻訳：張狄）



中国帰国者まつりを祝う

祝「中国帰国者节」召开

初夏之际，6月25日，在江东区综合区民中心，中国帰国者节隆重举行。

这次活动由NPO中国帰国者・日中友好之会和日本中国友好协会等12个团体联合筹备如期召开并取得成功。当日有240多人到会，近30个文艺节目竞相演出。驻日中国大使馆总领事及日本社会各友好团体人士应邀出席。

每年一度的帰国者节，已是中国帰国者展现绚丽光彩的一道风景线。

初夏の頃、6月25日、江東区総合区民センターにて中国帰国者祭を行いました。

今回のイベントは、NPO法人「中国帰国者・日中友好の会」と日中友好協会等12団体の主催で行ったものであり、240人余りが出席しました。中国大使館の総領事ご臨席の下、各友好団体の代表らが出席し、帰国者たちの披露した30以上の演目をご覧いただきました。

毎年一度の帰国者祭りは、間違いなく帰国者たちの交流の場となり、また、自己表現のチャンスになっております。（翻訳：過能国弘）



悼念刘金花老师＝劉金花先生を偲ぶ

孫妮

2016年7月24日我们敬爱的刘金花老师与世长辞了。噩耗传来整个NPO、整个声乐教室都被悲痛笼罩着，刘老师我们舍不得您走。

一年前，当医生说您被那可恶的病魔缠上时，谁都不信。我们执着的认为：不可能！这不是真的！您那么阳光，那么健康，怎么会？一定是医生弄错了！每一位学生都在心里默默地为您祈祷。

您一生追求完美，对艺术精益求精，您的教诲我们永远谨记。您不忘自己是中国人，满怀对祖国的热爱，您发出的信息都是满满的正能量。您抱病带领我们声乐班，用感激之情、以优美的歌声，看望慰问养育了我们的中国亲人。最终您把自己留在了那片挚爱的土地上。

为了《世界反法西斯胜利70周年》那场盛大的演出，您隐瞒了病情，耽误治疗。您的顽强精神令人钦佩。

去年8.26的那场演出是我们最后一次与您同台。舞台上您风采依旧，那端庄的台风，那优美的歌声，至今仍在我们的眼前、耳边……。

您（和栗山老师）是NPO归国者之家声乐教室的创始人。我们有幸在花甲之年成为您的学生，您是我们的启蒙老师，您用科学的发声方法教我们唱歌。虽然我们离您的要求还有很大距离，但是每个人都有了长足的进步。我们的歌声优美嘹亮，我们作为您的学生而自豪！

去年您请了病假，所有认识您的人都想去探望您，您婉言谢绝了大家。是不想给大家添麻烦？是不想让我们看到您病弱的样子？是不忍割舍这份师生之情？您走了，我们记住的永远是衣着得体、端庄大方、神采飞扬、秀外慧中的刘金花老师。已无法形容我们的悲伤，但是我们可以用美丽来形容63岁的您，您的人生一直到最后都是美丽的。这也许是上帝对您的怜爱，让您的生命在依然美丽的时候画上句号。

中国有句老话“一日为师终生为父”。刘老师您是我们多年的恩师，我们由衷的说一声：“刘老师您真的辛苦啦，谢谢您！谢谢！”

愿我们才貌双全的刘金花老师在天堂里平安快乐；愿刘老师优美动人的歌声、响彻兰天。

别了，我们尊敬的老师！

别了，我们声乐教室靓丽的刘金花老师！

让歌声寄托我们的哀思为刘老师送行

千の風に

千の風になって

あの大きな空を

吹きわたっています

(秋川雅史「千の風になって」より抜粋)



劉金花先生のご逝去を悼み、謹んでお悔やみを申し上げますと共に、生前、先生の温かいご指導に改めて御礼を申し上げます。

2016年7月24日、私たちの敬愛する劉金花先生が永遠の眠りにつかれました。突然の訃報、いまだに信じられない思いです。NPO、各教室は悲痛な空気に包まれました。

昨年、医師に病名を告げられたとき、誰も信じられなかった。こんなに明るい、健康なあたなが どうして？嘘でしょう！医師の診立て違いでしょう！皆はただ一心に祈るばかりでした。

劉先生は、優れた才能と、謙虚な態度で芸術を追求するために生涯を捧げました。その姿は私達の心の中に銘記しています。先生の熱心な指導と厳しい練習は決して一生忘れることはありません。先生は自分が中国人であることを忘れず、祖国を愛する情熱に満ち溢れていました。闘病中も優雅な歌声でご指導いただきました。また、育ててくれた中国の故郷に戻り、最後に自分の誠実な愛をその大地に捧げました。

《戦後70周年記念公演会》公演のため悪化する病状を隠し、治療を遅らせ、強靱な精神力のもと舞台に立ち歌う姿に敬服します。

昨年8月26日の公演は私達にとって劉先生と共に立つ最後の舞台となりました。先生の堂々とした風貌は今でも目に浮かびます。先生の優雅な歌声は今も耳に残ります…。

劉先生（と栗山先生）はNPO帰国者の家の声乐教室の創始者であり、私達は還暦を過ぎてから生徒となりました。私達を啓蒙し、かつ科学的に優れた発声練習を指導いただきました。先生の期待にまだまだ及びませんが、最初の時に比べ大きな進歩がありました。私達の歌声が優美に高らかに響きわたるのは、先生のご指導の賜物です。先生の生徒であることを誇りに思っています！

去年、先生は病に倒れて以来、すべての人のお見舞いを断っていました。それはご自分の病弱な姿を皆さんに見せたくないから。皆さんを悲しませたくないから。先生と生徒として決別したくないから。先生とは永遠の別れとなりましたが、礼儀正しく、優雅で、光り輝き、聡明な劉金花先生の事を私達は一生忘れる事はありません。先生とお別れした悲しみは言葉では表現できません。63歳の生涯は最後まで美しいものでした。もしかしたら、これは天からの恵みかもしれません。先生はもっとも美しいときに人生の終止符を打ちました。

“一日の恩師は一生の父であり”という中国の昔話があります。劉先生に私達は長きに亘り教えて頂きました。心の底から先生に：“本当にお疲れ様でした。心から感謝申し上げます！感謝致します！”と申し上げます。

美しさと才能に溢れた劉金花先生が天国で安らかに眠れるよう；先生の優美な歌声が天国で高らかに響くよう！

サウナラ、我が尊敬する先生！

サウナラ、我が声乐教室の美しい劉金花先生！

最後に、劉先生とのお別れに、歌を捧げます。(翻訳：春暁)

人生虽无常 几度可重阳

村松緑

5月18日下午，我的胃开始不舒服，后来肚子也很胀，我以为是吃错了什么也没太在意。19日去医院诊断是胃肠感冒。当晚我肚子疼痛难忍，20日一早我就去了小田医院，想打个点滴止住疼痛。可是医生告诉我从片子上看需要入院手术。医生为我叫了救护车，送我到了《昭和大学江東豊洲病院》，医生、护士给我进行了各项检查。我当时有些慌了，家中没人，外孙刚刚走，老头和女儿要6月份才回来。我马上给家人发了信息，医生又和我的外孙通电话，说明了情况。外孙告诉我一切听从医生安排，他和我女儿马上过来。但是他们最快也要晚上10点才能赶到医院。我给中岛、村上、前田等人也发了信息。下午4点多来到病院8个人，她们是前田、小川、村上、中岛、安藤、关、林、堤内。虽然当时我很虚弱，但是看到了这么多的朋友，心里真的是有了安慰。此时她们不仅是朋友，她们就是亲人、是家人……。

这时医生说明手术的各项事宜，我当时不了解病的严重性，还问医生可否等女儿、外孙到了再手术？医生严肃地说：“不马上手术会有危险。”这时我说：“听医生的。”村上说：“必须做手术，没有亲属签字我来签。”医生说：“本人签字可以。”我立即签了字。我那三个字写得歪歪扭扭的，手都不听使唤了。

这八位朋友在身边，使我有亲人在身边的感觉。她们商量一下，留下村上、小川、关、前田四人等候我手术出来，后来堤内又赶回来了。她们五个人看着我19:30被推进手术室，等到21:30才退出来。当听到医生大声说：“手術が終わりました”时，我睁开了眼睛，看到这五个熟悉的面孔。她们含泪心痛得看着我，有人擦着眼泪……。这不是亲人胜似亲人的情谊是何等的珍贵！她们为了我能及时手术，转危为安，替代我的家人给了我关爱，焦虑，期盼……。

住院期间我真正体会到了[中国归国者、残留孤儿之家]这个大家庭的温暖。从理事长到各位理事、从姐妹到兄弟，大家都特别关心和牵挂着我。入泽小妹用藏头诗句表达对我的祝福：

祝愿牵挂守病床 村鸟清啼见曙光
松柏之情迎危难 绿水豊洲心宽敞
快愈又可同声唱 好好日子添力量
起步再跳新舞蹈 来日方长向前闯。

有的朋友多次跑来看望我，关心爱护使我感动，我发到《日本舞教室》群里的微信：“我入院整10天了。山穷水尽疑无路，柳暗花明又一村。是我这10天住院感受的真实写照，我又活过来了。我知道这不仅仅是我个人及家庭的喜讯，也是我们“孤儿之家”的喜讯，真的是人生无常，几度夕阳红。我这次的教训希望朋友们吸取。小时候的苦难重重都留下了生命，难道我们有能力掌控命运时却大意下去吗？再说关爱生命的意义不完全为了自己，更多的要涉及到亲人、朋友。所以让我们一起来注重健康，共度幸福的晚年生活吧！

5月18日午後私は胃に最初の異変を感じた。19日胃腸風邪と診断。当夜腹部激痛で我慢できず、20日早朝信頼する小田医院で、入院手術が必要との診断。救急車で医師所属の《昭和大学江東豊洲病院》に搬送。複数の医師、看護師達により多くの検査を受け正に気が動転した。選りによって家に誰も居ない。孫は中国に行った直後、夫と娘も6月に帰国予定。直ぐ連絡をとり医師から直接孫に状況を説明戴く。孫は「先生に従って。今日中にママと帰国する。最短夜10時には病院到着予定」とのたまう。NPOで共に活動する中島等3名に連絡を入れ、4時頃計8名が駆けつけてくれた。私は独り心細かったものの多くの友人達に囲まれ漸く安堵した。彼女達は私にとってもう友達などではなく、身内であり、正に家族であった…。

主治医から手術に関する重要事項の説明を受けた。深刻さに思い至らず、娘達の到着後に手術希望と尋ねるも、厳肅な態度で“すぐ手術しないと命の危険が…”との告知。村上が“手術が必要なら家族に代り私が署名します”と名乗り出てくれた。本人の署名だけで十分。という医師の言葉にすぐに署名するも、緊張の余り手が震えてし



まい名前のたった3文字すら真直ぐに書くことが出来なかった。

皆がまるで身内のように付き添ってくれ、19時半に手術室へ見送り、21時半に出迎えてくれた。主治医が耳元に大声で手術の終わりを告げた。私は瞳を大きく見開き、やっと旧知の顔を見上げた。心配そうに私を覗き込み、中には涙を拭う者も…。実の家族以上に心を砕いた彼女たちの情誼は何にもかえ難い！術後、危機を脱した私に愛情深く看護し焦慮し期待し…。入院中「残留孤児の家」この大家族の温もりを肌で強く感じた。

入沢小妹から祝福の詩句(原文参照)を頂いた。

何度も見舞ってくれた友人もいて、彼らの友情と友愛に感動した。下記は私から《日本舞踊教室》の仲間にした内容である。「私は入院して10日経った。山に行き詰まり、道半ば苦境にあるも希望が見えてくることを待ち、何時か明るい未来がやってくると信じた。」

これはこの10日間の記録である。正に私は生き返った。これは家族だけの喜びではなく、“孤児の家”の喜びでもある。人生には何が起こるか分からない、真っ赤な夕陽を何度見られるだろう。今回の教訓は友人達にも銘記する事を望む。幼き折に艱難辛苦を重ね生命をつないだ。自分の運命を掌握できる時になって不注意になった！健康に留意することは自分の為だけではなく、家族、友人の為でもある。これから皆さんと一緒に健康を重視し、共に幸せな晩年を過ごせるよう生きていきましょう！（翻訳：春暁）（文中敬称省略）

残留孤児のラッキースター 笠原五郎さん

宮崎慶文

笠原五郎先生今年95歳。在他的一生中，真诚无私不图回报地为残留日本人孤儿做了大量支援工作。他为上百名残留孤儿及二代做保人，为回到日本的孤儿家庭，添置生活用品，使他们能顺利地度过难关，安居日本的生活。笠原先生对孤儿的恩情，我们一辈子忘不了，他的事迹令人感动，值得称颂。笠原五郎先生支援残留孤儿事业功绩卓著，1994年11月获得厚生劳动大臣的表彰。

为解决孤儿学习日语场所不足的问题，笠原五郎先生自己出资在品川区西大井6丁目町会会馆创办了东京都城南地区中国归国者日本語教室，长达8年之久。聘请了三位老师任教。学员最多时达到20多人。此教室已列入厚生劳动省的名录。大家每周六在西大井会馆聚会，学习，交流。每年举办忘年会，赏花会，见学旅行等活动，在这里就像一家人。我们在这8年里得到笠原先生无微不至的关怀和照顾。8年的学习至今历历在目，记忆犹新。笠原先生因年龄和精力的原因，停办了西大井日本語教室。但是我们这些当年受益者怎能忘记笠原先生的恩惠，每年在6月笠原先生的生日前及年底时，两次去笠原先生住所附近的饭店一起聚会，交流。一直坚持到现在。笠原先生身体健康，令我们欣慰。95岁高龄先生还要照顾同样高龄的老伴，买菜，做饭。这样高龄的老人至今全部生活都能自理，不要介护，真是奇迹。

笠原先生长年以来，一直支援残留孤儿维护自己合法权益的斗争。从2002年残留孤儿们组成国家赔偿诉讼原告团开始，就全力关注裁判斗争的进展，每年都慷慨解囊，捐款寄付。

在残留孤儿的斗争取得胜利的2008年，NPO法人《中国归国者 日中友好之会》成立，笠原先生又立即成为该组织的赞助会员，除每年按时缴纳会费外，还给本会数额不等的寄付。

给本会的事业添砖加瓦，贡献一份力量。

2015年8月26日在所泽举办的中国归国者战后70周年公演会。笠原五郎先生不顾年事已高，车行劳顿，执意要去观看演出，在中本富子的陪伴下，当天来到现场，令我们感动不已。他的精神鼓励着我们，像他一样健康，乐观地生活下去。

我们祝笠原五郎先生健康长寿！

笠原さんは今年95歳、一生を残留孤支援に捧げてくれた。

100名を超す残留孤児と残留孤児二世の身元引受人を引き受け、孤児一家が帰国するとなればスムーズに定住生活を始められるよう家庭用品を準備してくれた。笠原さんへの恩は一生忘れることはできない。彼の軌跡は人の心を動かし賞賛に値する

と思う。氏は残留孤児支援に対する卓越した功績に対し、1994年11月厚生労働大臣より表彰を受けた。

孤児の日本語学習所が不足していると知ると笠原さんは品川区西大井6丁目の町内会館に自ら「東京都城南地区中国帰国者日本語教室」を開設、8年に至った。教師は3名、生徒は多い時には20名に達し、教室は厚生労働省の名録にも収められている。生徒たちは毎週土曜日に西大井会館で集会、学習、交流を行い、まるで大家族のように忘年会、花見会、修学旅行等の活動も欠かさない。8年間笠原さんのきめ細かい世話を受けた私たちは8年の一コマコマがくっきりと脳裏に残っている。

現在、笠原さんは高齢のため教室を辞めてしまったが世話になった者たちは感謝の想いを忘れず、毎年6月の笠原さんの誕生日と年末には家の近くのレストランで会食を行う。笠原さんがお元気なのが私たちの喜びでもあり、95歳の先生は同じく高齢の夫人とともに買い物をするし料理もする。これほど高齢で介護されることなく自立した生活ができるのは奇跡のようだと思う。

残留孤児が自らの権利を求めた闘争では、長きにわたって笠原先生の支援を受けた。また2002年の残留孤児国家訴訟原告団の成立後は一心に裁判の進展に注目され、いつも快く寄付をしてくれた。また国家訴訟勝利の2008年、NPO法人《中国帰国者 日中友好の会》設立に当たっては、すぐに賛助会員に登録、当会の事業活動に多大なる力を与えて下さっている。

2015年8月26日、所沢で行われた中国帰国者戦後70周年公演会の際は高齢の笠原先生が遠距離をいわず駆けつけてくれた。中本富子さんの付添いで会場に姿を現した時、私たちの感動は言葉にならなかった。彼の精神が私たちの励ましとなり、彼のように健康で楽観的に生きていけると思うのだ。

笠原先生の健康長寿を心から祈っている。（翻訳：延江あきこ）



「NPO 法人 中国帰国者・日中友好の会」活動記録 (2016 年 5 月～2016 年 7 月)

5月31日	於衆議院第二議員会館 蒲島郁夫熊本県知事に野田毅議員にお立合いいただき、池田含め4名の理事が代表して義援金を手渡す。 東京・千葉・京都及び大阪の帰国者と、関東弁護士合計200万円。
6月 1-3 日	愛媛県松山市へ 本会主催で旅行。
6月14日	厚生労働省塩崎恭久厚労大臣と当会理事代表者、弁護士、及び全国原告団面談
6月18日	於本会活動室 本会第8回定例総会 開催
6月22日	人民網日本支社 趙松氏来会 池田を取材。
6月24日	毎日新聞大阪本社 櫻井由紀治氏 池田を取材。
6月25日	於江東区総合区民センター2階ホール 中国帰国者まつり2016 開催。
6月27日	於中国文化センター 日中映画協会主催「日中友好第二回写真展」 開会式典にて男性合唱・混声合唱を披露
7月1日	二世の小野隆輔氏から会議室の空調を寄贈いただき、ご子息とともに設置いただく。
7月9日	朝日新聞社の大久保真紀記者が取材の為来会。(7/23・7/26)
7月21日	公益財団法人中国残留孤児援護基金より平成28年度団体助成金として 544,800 円を交付の旨決定通知を受領。
7月25日	社会福祉法人 東京都共同募金会よりパソコン教室パソコン更新費として、 平成28年度共同募金第一次 A 配分として49万円を交付の旨決定通知を受領。

※お知らせ※

★野田毅衆議院議員面談★

日時:8月9日
場所:議員会館

★舞踏班客演予定★

日時:8月13日／9月4日
場所:北とぴあ

★夏休み★

8月15日～19日

★来訪&見学★

8月23日(火)14時半～16時
法政大学国際文化学部高柳俊男教授が
ゼミの学生とともに
フィールドワークの一環として来会予定

★中国残留孤児問題フォーラム★

日時:10月2日(日)
場所:江戸東京博物館

訃告

7月24日 劉金花先生ご逝去されました
ご冥福をお祈りいたしますと共に
先生には長年にわたり音楽教室を指導戴き
心より御礼申し上げます。(追悼記事 5 面)



木内みどり(女優)／河合弘之さん(弁護士・映画監督)
対談は YouTube で視聴できます。

<https://www.youtube.com/watch?v=Gwb3nh55l9Q>

《家園》編集委員 (第 16 号)

白 山 明 徳	河 村 忠 志
二 田 口 国 博	張 狄
春 曉	惟 遠
中 嶋 い つ 子	孫 妮
入 澤 美 和 子	
レイアウト 松本莉恵	

編 集 後 記

現在“微信”盛行、几乎处处可见、不分老少都在看那掌上“スマホ”。

是否过了呢?“网上得来终觉浅、欲知真知要攻书”一些资深的好作家在纸上写成的好文字还是耐看、保险。

再忙、再累、再穷、再富、再幼、再老、我们都不该丢掉书本、忘了读书。